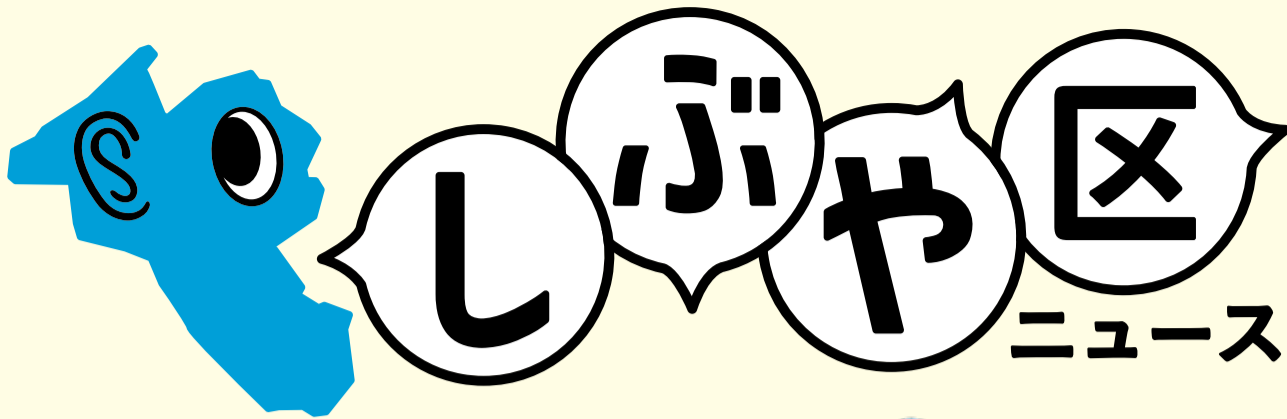


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。



平成30年  
(2018年) 3月15日

No.1381 別冊

渋谷おとなりサンデー  
特集号



今年もみんな  
で渋谷おとなりサンデー



6月3日(日)

## 渋谷おとなりサンデーを開催します

“ふだん話す機会の少ない近隣の人とちょっと顔見知りになる日”にしよう、というコンセプトで始まった渋谷おとなりサンデー。渋谷区では、29年から6月の第1日曜日を「渋谷おとなりサンデーの日」としました。今年は笹塚・幡ヶ谷エリアを中心に渋谷おとなりサンデーの輪を区内に広げます。さあ、おとなりさんと何しよう。

### 🚩 渋谷おとなりサンデーって？

1999年にフランス・パリで始まった隣人祭りをモチーフにしています。パリのアパートで発生した高齢の女性の孤独死。みんなが顔見知りであれば起こらなかった…そう考えた一人の青年の呼びかけにより、住民同士の集まる場が開催されました。すると同じアパート内であいさつをし合う人が増え、そこから会話が始まり、子どもの面倒を見合うなどの交流が生まれていきました。その日を境に今日まで「隣人祭り」として、年に1回食べ物・飲み物を持ち寄って、集合住宅の中庭や近くの広場に集まる取り組みが各地に広がっています。

# Talking! 街ぐるみで連携して、みんなで 交わる渋谷おとなりサンデー。

渋谷区町会連合会会長の小林三雄さんと渋谷区商店会連合会会長の大西賢治さんをお迎えして、長谷部区長と今後の渋谷おとなりサンデーについて話し合いました。

**長谷部:**「渋谷おとなりサンデー」は元々はパリで始まった「隣人祭り」を参考にしています。なぜパリで隣人祭りが行われるようになったかというところ、とあるパリのアパートで孤独死が起きたことがきっかけでした。それを知った青年が「自分たちが近所の人と顔見知りであれば、こんな悲しいことは起きなかった」と胸を痛めて、お互いが顔見知りになるために、アパートの中庭にワインやチーズ、パンなどを持ち寄り、年に1度集まる日を作ったらしいんです。そうしたら、それが見事に功を奏して、翌日からコミュニケーションの基本であるあいさつが交わされるようになりました。東京と同じ大都会のパリで、同じ建物の中に誰が住んでいるかわからなかったのが、会話が生まれて、さまざまな問題が解決していったと聞いて、私たちもこれを取り入れられないかと考えたんです。

**大 西:**フランス人に比べたらどうしても日本人はシャイな感じがしますから、人がたくさん集まるとしゃべりにくい、というところがあると思いますけど、本音では皆さん地域に頼りたいと思ってるはずですよ。

**長谷部:**そうなんです。ただパーティーをやりたいと声を掛けても、なかなか上手に楽しめなかったり、最初に声を掛けることすらためらってしまうんじゃないかと思いました。であれば、区が6月第1日曜日は「渋谷おとなりサンデーの日」と決めて、パーティーに限定するのではなく、あとは自由に、何でもいから隣の人、近所の人に声を掛けて一緒に何かをやる日というのを昨年から始めました。そうしたら区内で約40の交流の場が開かれたんです。

**小 林:**区内各地でそれほど行われていたとは、知りませんでした。

**長谷部:**区民の皆さんといろいろとお話をする機会がありますが、話してみると、どこも同じような課題を抱えています。それならば、一気に交わり解決の方が効率が良いし、それをきっかけに新しいコミュニティが生まれるかもしれない。昨年、呼び掛けに応じてくれたのは、普段から町会や商店街の活動に参加しているという人たちではなく、「渋谷区が面白いことをするみたいぞ」と興味を持ってくれた若い世代の人たちが中心でした。

**大 西:**皆さん、食わず嫌いやいやだけれど、地域に出てみたいという思いがあるながらも、なかなかできなかつたり、近所との付き合いをためらっている人は多いはずですよ。長く渋谷区で暮らしていますが、いわゆる「地域力」はだんだんと弱まっているように感じています。ご近所とほとんど会話がなから、連携が取りにくいし、防犯の面で不安も大きい。だけど、渋谷おとなりサンデーをきっかけに、そ



れをカバーできるようなコミュニティが生まれたら理想的ですね。まずは顔を合わせる機会ができれば、そこから次に会ったときに言葉を交わせますからね。

**長谷部:**渋谷おとなりサンデーは強制参加ではうまくいかないと思っています。「やりたい」という思いを持っている人がやり続けていくうちに、「昨年参加して面白かったから、今度は自分たちでやってみようよ」と、つながっていくのが理想の形ですね。

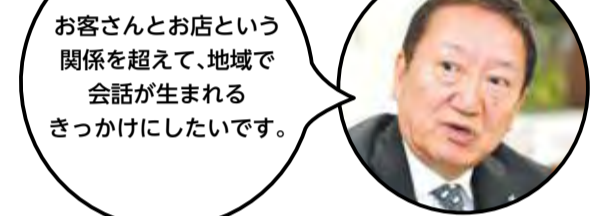
**大 西:**でも外から来た人たちは、友達がいないと参加できないとか、そういうハードルもあるかもしれませんね。

**長谷部:**他の地域から引っ越してきた人たちは、「渋谷に住みたい」と思って来てくれた人が多く、渋谷に住む人たちと交わりたいという潜在意識は持っているのではないかと考えています。一方で、渋谷に長く住んでいる人も、新しい人を受け入れる寛容さがある、とどんどん交流していきたくてという思いを持っているのに、互いが顔を合わせる機会がない。だから行政としては、そういう場を作って、皆さんの背中を少し押すことができればいいかなと思っています。パリだけでなく、アメリカにも同じような取り組みがあるそうですし、人間として他者とつながりたいという思いは、世界共通なのかもしれません。前例がなく、区全体としてこういうキャンペーンをするのは大きなチャレンジですが、非常に価値のあることだと思っています。

**小 林:**私もそう思います。地域やご近所との交流という観点では、町会ではお花見をしますが、それも渋谷おとなりサンデーの一つということになりますよね。

**長谷部:**もちろんそうだと思いますね。

**小 林:**町会のイベントでお花見をするときは、通り過ぎる人にも声を掛けますし、普段から町会の活動に参加していない人も集まってきます。特に子どもたちと地域の人々がコミュニケーションをとる良い機会になっています。そう考えると、元々私



渋谷区商店会連合会会長 大西賢治さん

お客さんとお店という関係を越えて、地域で会話が生まれるきっかけにしたいです。

たちも地域で渋谷おとなりサンデーのようなことをしていたわけですから、これが各地域にお花見の季節以外にもどんどん広がれば、街全体がつながるいい機会になるはずですよ。区がそのきっかけを作ってくれるというのは、ありがたいことだと思います。

**長谷部:**お花見が一例のように、何も渋谷おとなりサンデーという名前ではなくても、「今まで私たちが同じようなことをやっていたよ」という声も届きます。でも「今までやっていた人も、やっていなかった人もプラス1」という気持ちで、参加してもらえたらと思っています。

**小 林:**そういうイベントがきっかけになって、例えば同じマンションに住んでいるとか、同じごみ捨て場を利用しているとか、そういう人たち同士のあいさつだけじゃなく、新しい何かが発展していく可能性があると思います。そこから今までは違う切り口で、新しい何かに発展していく可能性があると思います。犯罪防止の側面からも、さまざまな面でプラスになるはずですよ。

**大 西:**私たちが子どものころは、緑台で将棋を指したものです。皆でそれを見ながら騒いだり、そこに一つの輪ができて、夕方になれば「ご飯だよ」と呼びにくる声がい



渋谷区長 長谷部健

渋谷おとなりサンデーで生まれる、新しいコミュニティに期待しています。

て、そういう昔見た風景が、また見られるようになればいいですね。今は互いに顔が見えないけれど、渋谷おとなりサンデーをきっかけに、そういう関係ができていけば、互いの顔が見えるようになって安心して暮らせるようになると思います。

**長谷部:**私も昔ながらの街の良い景色を、もう一度取り戻したいと考えています。よく私が使っている言葉なのですが「最先端の田舎暮らし」というか、人に呼び掛けたり、広めるのはインターネット中心だけれど、集まってやっていることは昔ながらで...というのはとても理想的だと思います。

**小 林:**それが渋谷でできるというのがいいですね。

**長谷部:**渋谷おとなりサンデーを広めていくために、町会、商店街それぞれに協力をお願いできればと思っています。まず商店街には、街中に旗を掲げるといったのが広報的に大きなアピールになるのではないかと考えています。「6月の第1日曜日は渋谷おとなりサンデーの日です」という旗が、渋谷区中の商店街に掲げられたら、知らない人も絶対に「渋谷おとなりサンデーって何?」となると思うんですよ。これまで区内で統一して旗を掲げたことはないで、ぜひ成功できればと思っています。

**大 西:**商店街としてはもちろん協力をしたいですし、売る側と買う側という枠を超えて、お互いに今日はこの空間の中で皆さんで楽しみたいという日が作れたらいいと思います。それを大型店舗などでやるのはなかなか難しいでしょうから、だからこそ商店街がそういうことをできると面白いですね。

**長谷部:**今、渋谷おとなりサンデー以外にも、渋谷区子どもテーブルという取り組みを行っています。例えば、お年寄り子どもが一つのテーブルで将棋やあやとりをしたり。こうした世代間交流にぜひ町会の皆さんのご協力をお願いします。最後に、お二人から渋谷おとなりサンデーの今後に向けての思いをお聞かせいただけますか。

**大 西:**先ほども話しましたが、商店街としてはお客さんとお店という関係を越えて、渋谷おとなりサンデーが地域のコミュニティとして会話が生まれるきっかけを担ってくれるのではないかと期待しています。そして「渋谷に来てよかった」と思ってくれる人が増えて、さらにその輪が広がってほしいですね。また、区内59の商店街がこれを契機にさらに連携して、仲良くなっていくのではないかと期待しています。私自身、率先して参加して楽しみたいですね。

**小 林:**105の町会と話し合いながら、渋谷区を活性化させるお手伝いができればと思っています。区と商店街とも手を携えて、協力してやっていきたいと思います。



渋谷区町会連合会会長 小林三雄さん

町会でやっているお花見も、渋谷おとなりサンデーの一つになりますよね。

## Review! スタイルさまざま 渋谷おとなりサンデー

29年6月4日の渋谷おとなりサンデー当日に実施したイベントの様子です。

- ▶ みんなで渋谷の子育てについて「ワイガヤ」しよう @代々木公園
- ▶ カラフルツリーを育てよう @神宮前



▶子育てに奮闘しているパパ、ママがゆるやかなつながりを保ちながら交流会をしました

“地域”を身近に感じられるようになりました。



▶大人も子どもも手をチョークまみれにして、道路に目いっぱいアートを作成しました

普段会えない人たちとも顔見知りになりました。



29年は渋谷キャストを含め、各地で開催されました。

- ▶ 渋谷クリーンウォーク作戦 @道玄坂
- ▶ 代官山朝活ランニング @代官山ほか



▶ 神山町付近のごみ拾いをした後みんなでお茶を飲みました



▶ みんなでランニングをした後、ランチを楽しみました

- ▶ あなたといのちの森づくり @明治神宮
- ▶ サッポロ広場の芝生スペースを楽しもう @恵比寿ガーデンプレイス



▶ 普段からこの場所で活動しているボランティアチームが境内を案内後、どんぐり苗の手入れ体験をしました



▶ サッポロ広場の芝生スペースを特別開放し、子どもがはだして駆け回りました

## News! 渋谷おとなりサンデーを学ぶ

開催 12/4 「そこが聞きたい! 地域のはなし」 小さな勉強会

第1回は「マンション内の近所付き合い」をテーマに開催され、渋谷区に住む働く・学ぶ人など区内に関わりのある20~60代の参加者約10人が参加しました。今回は千駄ヶ谷のマンションで年に2回、隣人祭りとして食事の持ち寄り会を実施している神向寺さんや、さまざまな地域の規模マンションやコミュニティづくりを通じて、防災、子育て、高齢者の生きがい創出などを行っている荒さんをゲストに迎えて、勉強会を実施しました。参加者からは「どうやって最初の一步を踏み出すのか」という、自分が取り組む上での質問があるなど、自身の地域コミュニティへの関わり方を考える貴重な勉強の場となりました。



# Leading! 渋谷おとなりサンデーの先輩たちの活動

## ささはたカフェ

### 巡回型の地域の憩いの場

地域のために何かできることはないかと模索した結果、お年寄りから子どもまで幅広い年代の人が集える場所は商店街だと考えました。十号通り商店街、笹塚十号坂商店街、幡ヶ谷六号通り商店街の3か所を拠点として、おおむね月に1回持ち回りで行っています。当初行き交う人たちからは「何をしているの?」という反応がありましたが、徐々に人と人がつながり口コミなどで広がって、今では多いときで60人くらい集まるようになりました。活動はお茶の淹れ方を教えたり、近所の保育園園児の合唱や、福祉作業所ふれんどによるハンドベル演奏の披露など、お互いの特技などを持ち寄って、日々進化しています。以前は自分の仕事などに関わり合いがある人との限定的な付き合いでしたが、多くの人と名前がわかる関係になり、気軽に声を掛けやすくなりました。また、運営委員会には帝京短期大学や専門的な知識を持っている人もいて、心配な人がいるときは、より専門性の高い分野につながる役割も担えるようになりました。気軽さが売りですから、このカフェを通して知り合っ



た人たちから、別の場所で新たな会話が生まれたという話を聞いたときは、やっつけてよかったなと感じました。

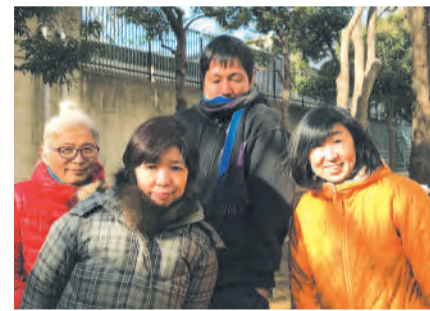
\*詳しくは、ささはたドットこむ(www.sasahata.com)をご覧ください。

◀ささはたカフェ運営委員会  
(左から)秋元浩さん、飯島良臣さん、森下利江さん

## せせらぎ冒険遊び場

### 地域独自のアイデアで子どもの居場所づくり

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもたちが外で思い思いに遊べる場所を提供する活動です。平成12年に地域の子どもたちの受け皿として誕生した「せせらぎファンイン」の活動の一つで、毎週日曜日にスポーツセンター隣の子ども広場を開放しています。見守りは、子育てが落ち着いたお母さんなど5・6人が協力して担当してくれています。遊ぶ内容は日によって異なり、木にハンモックを張ったり、積み木を置いたり、御座を敷いたり、雪が降った日はそり遊びをしたり、みんなで協力して手作りの遊び場を提供しています。また、スポーツセンターで区民大会などがある日は、試合に参加している親御さんの子どもが遊びに来たりもしますね。月に一度は話し合いの機会を作り、みんなで課題を解決しながら続けています。居場所づくりの活動はさまざまですが、子どもたちにのびのび育ってほしいというのが私たちの願いなので、渋谷の新しい取り組みと並行して、こうした地に足をつけた活動で、子ども自らが育つことを応援

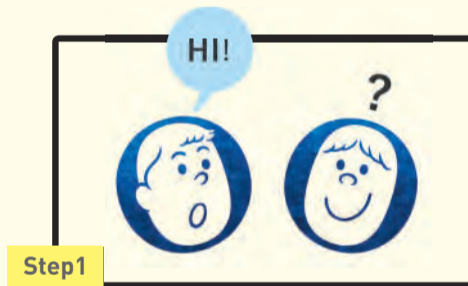


できたらと思います。冒険遊び場づくりと一緒にできる人を募集中です。

\*詳しくは小水映さんへ(☎090-5505-0887)

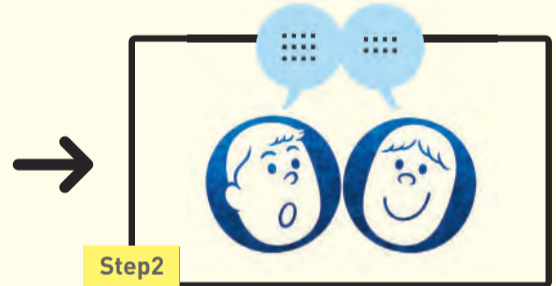
◀せせらぎ冒険遊び場スタッフ  
(左から)小水映さん、高橋美穂子さん、佐藤浩司さん、山内京子さん

# How to! やってみよう、渋谷おとなりサンデー



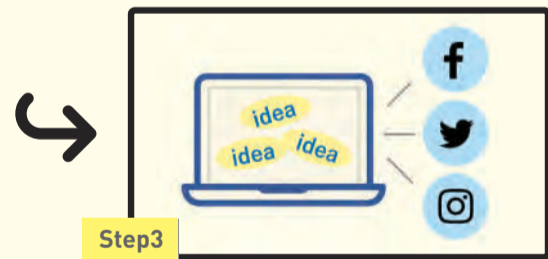
Step1

ご近所に「渋谷おとなりサンデーなので、何かやってみませんか?」と思いついて声を掛けてみよう。



Step2

事前に集まって「当日、何しよう?」とアイデアを出し合おう。



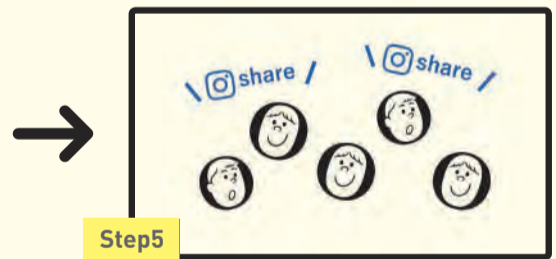
Step3

やる事が決まったら、渋谷おとなりサンデーHPに投稿。みんなでアイデアを共有しよう。



Step4

オリジナルポスターを製作するなど、当日までの準備も一緒に楽しもう。



Step5

当日はさまざまなおとなりさんと交流を深め、その様子を投稿しよう。#渋谷おとなりサンデー

## Information! 渋谷おとなりサンデーを知ろう

### ▶ 渋谷おとなりサンデー説明会

渋谷おとなりサンデーを知りたい、やってみたい、という人を対象にした説明会を開催します。

- ▶日時 4月14日(土) 14:00~16:00 (13:30から受付)
- ▶会場 美竹の丘・しぶや ▶定員 60人程度(先着)
- ▶申込 3月19~29日に地域振興課へ電話・ファクスで(氏名、連絡先、希望人数を記入)  
※メール(☑info@shibuya-otonari.jp)可

### ▶ 渋谷おとなりサンデーHPなど

- HP : shibuya-otonari.jp
- Facebook : @shibuya.otonari
- Instagram : @shibuya.otonari
- ※詳しくは渋谷おとなりサンデーHPまたは下記へお問い合わせください。



▲問い合わせフォームも開設しています